

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 日清エフ・ディ食品株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 701-4276 岡山県瀬戸内市長船町服部250番地
----	------------------------------	----	--

本票作成	部署名：品質保証部
------	-----------

主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業
-------	-------	----	------------

事業の概要	食品製造業、カップ麺具材の製造 従業員：66人
-------	-------------------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	日清エフ・ディ食品株式会社	岡山県瀬戸内市長船町服部250番地

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(令和 1 年度)	(令和 5)年度排出量	目標年度(令和 6 年度)
	3,441 t CO ₂	3,263 t CO ₂	3,269 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 5)年度排出量
	①	日清エフ・ディ食品株式会社	3,263 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	令和 2 年度	～	令和 6 年度	(5 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(5) 年度削減実績		目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 1.9 %		5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量(t)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(5) 年度	目標年度
		4.711 t CO ₂ /(t)	4.799 t CO ₂ /(t)	4.475 t CO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 5 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

<ul style="list-style-type: none"> ・捕虫器に使用している蛍光灯をLEDに変更 ・冷却循環ポンプ2台(1台18kw)の運転を1台に変更 ・排水処理ブロワーにインバーターを設置して運転管理 ・夏場のデマンドを考慮して生産調整を実施 上記対策により電力量を削減することができたが、重油使用量の増加・夏場の生産調整による原単位の増加のため削減目標を達成することはできなかった。
--

【推進体制】

・省エネ法に基づくエネルギー管理体制の基、エネルギー使用状況を管理している。
 ・ISO14001に基づき、工場長をトップとした環境管理体制の基、省エネに取り組んでいる。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
日清エフ・ディ食品株式会社	(令和5年度実施分) ・捕虫器に使用している蛍光灯をLEDに変更 ・冷却循環ポンプ2台(1台18kw)の運転を1台に変更 ・排水処理ブロワーにインバーターを設置して運転管理 ・夏場のデマンドを考慮して生産調整を実施 (今後実施予定分) ・捕虫器に使用している蛍光灯をLEDに変更 ・工場で使用している4基のボイラーについて、ガスボイラーへ更新する ・5,6,7号釜用の冷凍機を省エネ型に更新する

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	有	令和5年度：緑の募金(公益社団法人 岡山県緑化推進協会)
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	令和5年度：使用電力量の25%を再生可能エネルギー由来とする電力契約を行っている 今後実施予定：2028年度までに使用電力量の60%を再生可能エネルギー由来とする電力契約を行う
その他	無	

【その他特記事項】